

# 編集後記

先の参議院選挙では、連立与党が過半数割れとなり、現内閣からどの内閣になるかまだ分かりません。衆参で過半数が取れず今後の政権運営は大変だと思いますが、何とか私達が安心して安定した暮らしができるように、切望いたします。

「誌上ギャラリー」は、有里敬代先生より「鶴丸城跡のお堀に咲く蓮と御楼門」と題した、御楼門と紅色に咲く蓮の花のコントラストが、夏を感じさせてくれる1枚が届きました。ありがとうございました。

「挨拶」では今年4月から鹿児島大学病院院長に就任された石塚賢治先生から、ご挨拶をいただきました。鹿児島大学病院の更なる発展に、導いてくださる事と思います。ご活躍を祈念しております。

「論説と話題」は、「第24回定期代議員会」の報告があります。ご参照ください。

「緑陰銷夏随筆特集」は、会員の先生はもとより関係各方面の方々から、たいへん多くのご寄稿をいただきました。テーマも多岐にわたり、大変読み応えのある特集となっております。ありがとうございました。

「学術」では、崎山勉先生より「ポリペクトミーを契機に診断に至った好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の一例」、また佐藤健朗先生から「脳卒中と脂質異常症」と題しご寄稿いただきました。貴重なご報告ありがとうございました。

「医師会病院だより」では園田拓郎先生からペインクリニック内科の紹介として、ペインクリニック治療 漢方治療 がん患者サポート治療を三本柱として治療を、

行われておられます。これからも紹介のほどよろしく願いいたします。

「随筆・その他」では、「茶道、振り返れば55年 その3-7 茶道と茶の湯の2大プロデューサー 利休と秀吉の胸の内、そして利休は聖人となった」と題して、栗博志先生からご寄稿いただきました。ありがとうございました。リレー随筆では、油木田瑛介先生より「私の趣味について」と題してご寄稿いただき、NBA特にロサンゼルスレイカーズとアーティストのback numberを応援されているとの事で、それぞれに込められた思いが綴られております。先生のこれからのご活躍を、心より願っております、ありがとうございました。

「区・支部だより」では、第1回伊敷、武岡、荒田支部会の模様が、届いております。ありがとうございました。

「各種部会だより」は丸山芳一先生より、鹿児島市内科医会7月例会のご報告です。どうぞ一読ください。

「各種報告」では理事会の概要、第45回鹿児島市医師会親善ゴルフ大会等が報告されています。ご参照ください。

「鹿市医狂壇」は、「灯籠（つろ）」がテーマです。皆様も是非一読ください。

まだまだ暑い日が続きますが、皆様も体調管理には気をつけていただき、何かと暗い世の中ですが、明るく楽しく元気になんとか乗り切って行きましょう。

(編集委員 角 純啓)